



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東
 コード番号 2432 URL http://dena.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)守安 功
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画本部長 (氏名)小川 智也 (TEL)03(6758)7200
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	52,158	9.6	16,991	△7.6	17,581	△2.7	9,882	△4.2	9,575	△4.2	11,595	27.3
25年3月期第1四半期	47,590	37.4	18,392	22.4	18,065	15.4	10,318	21.8	9,993	19.9	9,106	22.6

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	72	07	71	89
25年3月期第1四半期	70	11	69	91

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する資本合計		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	
26年3月期第1四半期	178,583	118,748	114,633	64.2				
25年3月期	194,784	123,676	119,259	61.2				

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	—
26年3月期	—	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—

(注) 1. 当四半期における配当予想の修正有無 : 無
 2. 平成26年3月期の配当予想は未定です。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益(予想)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	103,100	5.3	33,700	△13.1	19,900	△8.4	151	46
通期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 当四半期における業績予想の修正有無 : 有
 2. 通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	150,810,033株	25年3月期	150,810,033株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	21,303,932株	25年3月期	16,847,550株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	132,861,671株	25年3月期1Q	142,536,011株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式(26年3月期1Q:700,370株、25年3月期:733,272株)を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、要約四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等は、(添付資料)5ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 配当予想金額に関して

平成26年3月期の配当予想に関しましては、当社は業績連動型の配当を実施することを基本方針としているため、通期の業績予想について開示が可能となった時点で配当予想額についても速やかに開示いたします。なお、配当予想の開示を行う時期としましては、平成26年3月期第3四半期決算発表の時点を見込んでおります。

(3) 決算補足資料の入手方法

当社は、平成25年8月8日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、当四半期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	6
3. 要約四半期連結財務諸表	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書	9
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	10
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 継続企業の前提に関する注記	13
(7) 要約四半期連結財務諸表注記	13
(8) 重要な後発事象に関する注記	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで、以下「当第1四半期」という。）におけるわが国経済は、新政権の経済対策等への期待を背景とした景気回復に向けた動きが見受けられましたが、不安定な国際情勢や世界経済の減速等の影響が懸念される等、企業の国内投資や個人消費は、先行き不透明な状況で推移いたしました。

平成26年3月末の国内スマートフォン契約数は、前年同月末比33%増の6,508万回線となると予測されており、普及が続いております（株式会社インプレスR&D調べ）。また、世界的にもスマートフォンの普及が進んでおり、平成25年における世界のスマートフォン出荷台数は、前年比32.7%増の9億5,880万台になると予想されています（米国IDC社調べ）。

このような状況の下、当社グループは、ソーシャルゲームプラットフォームでグローバルNo.1のポジションを確立すべく、国内外の「Mobage（モバゲー）」で提供しているソーシャルゲームの利用拡大に注力してまいりました。

当第1四半期におきましては、海外「Mobage」で提供しているソーシャルゲーム内で使用される仮想通貨「モバコイン」の消費が、主要市場である北米を中心に増加し、売上収益の拡大に貢献いたしました。国内「Mobage」では、ブラウザゲームとアプリゲームの両方で内製・協業の新規タイトル開発を推進し、提供を開始するための準備を整えました。

一方、費用面では、提供タイトルの拡充に伴う減価償却費の増加やコイン消費拡大に伴う代金回収代行手数料の増加等により、売上原価、販売費及び一般管理費が増加いたしました。なお、海外事業におきましては、売上収益の拡大と適切なコスト管理により損益の改善が進み、欧米向け「Mobage」では、6月単月での黒字化を達成いたしました。

営業利益につきましては、利益率の高い国内「Mobage」の内製・協業タイトルでの売上収益が減少したこと等により、前年同期比で営業減益となりました。

以上の結果、当社グループの売上収益は52,158百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は16,991百万円（同7.6%減）、税引前四半期利益は17,581百万円（同2.7%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は9,575百万円（同4.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期より、従来「その他」に含めていた旅行代理店サービス等を「EC事業」に区分する変更を行っております。そのため、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて、前年同期との比較を行っております。

①ソーシャルメディア事業

当第1四半期の国内「Mobage」のモバコイン消費は、サードパーティ提供タイトルが堅調に推移した結果、前年同期比1.2%増の54,766百万円となりました。スマートフォン等（注1）からのモバコイン消費は、平成25年6月時点で全体の約7割となっております。また、ブラウザゲームとアプリゲームの両方で内製・協業の新規タイトル開発を推進し、第2四半期以降提供する準備を整えました。

海外「Mobage」のモバコイン消費は、内製・協業タイトル、サードパーティ提供タイトルでそれぞれヒット作が生まれたことにより、北米を中心に拡大し、前年同期比で8倍の約80百万ドルになりました。複数タイトルがAndroid（注2）アプリマーケットのGoogle PlayとiOS（注3）アプリマーケットのApp Storeそれぞれで米国総合売上ランキング上位に常駐し、売上収益の拡大に寄与しました。また、コイン消費に対するユーザ獲得費用の割合が低下する等の効率化も進みました。主力の欧米向け「Mobage」は、6月単月で黒字化を達成いたしました。

なお、セグメント利益は、利益率の高い国内「Mobage」の内製・協業タイトルでの売上収益が減少したこと等により、前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、ソーシャルメディア事業の売上収益は、45,052百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は17,868百万円（同2.2%減）となりました。

（注1）Yahoo! Mobage（PC）を含みます。

（注2）Androidとは、米国Google社のスマートフォン向けOS（オペレーティングシステム）の名称です。

（注3）iOSとは、米国Apple社のiPhone/iPod touch/iPadに搭載されているOSの名称です。

②EC事業

ショッピングサービスにおいては、総合ショッピングサイト「DeNAショッピング」（「auショッピングモール」を含む。）の当第1四半期の取扱高が10,541百万円（前年同期比0.5%増）となりました。また、当第1四半期末の有料法人会員店舗数は4,726店（前年同期末比670店増）と大幅に増加いたしました。「DeNAショッピング」を中核として各サービス間の連携効果を高めるため、有力パートナーとの連携も図りながら、ユーザの利便性向上と事業基盤強化の取り組みを進めました。

オークションサービスにおいては、オークションサイト「モバオク」（「auモバオク」を含む。）は、当第1四半期末の有料会員数が99万人（同10万人減）となりました。

決済代行サービスを提供する株式会社ペイジェントは、決済規模が引き続き拡大いたしました。株式会社エアーリンクが運営する旅行代理店サービスは、採算の良い海外ツアー販売が減少したものの、オンラインチケット販売の取扱高が拡大いたしました。

以上の結果、EC事業の売上収益は4,348百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は886百万円（前年同期比22.8%減）となりました。

③その他

株式会社横浜DeNAベイスターズは、当第1四半期の主催試合の入場者数が前年同期比で順調に増加する等、売上収益の拡大に寄与しました。一方で、チーム力強化のため有力選手を獲得したこと等により費用が増加いたしました。

以上の結果、その他の売上収益は2,757百万円（前年同期比13.2%増）、セグメント利益は146百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は178,583百万円（前連結会計年度末比16,201百万円減）となりました。

流動資産は97,674百万円（前連結会計年度末比21,152百万円減）となりました。主な減少要因は現金及び現金同等物が20,679百万円減少したことなどによるものであります。

非流動資産は80,909百万円（前連結会計年度末比4,951百万円増）となりました。主な増加要因は無形資産が1,325百万円増加、のれんが1,620百万円増加したことなどによるものであります。

流動負債は58,610百万円（前連結会計年度末比11,273百万円減）となりました。主な減少要因は未払法人所得税が13,027百万円減少したことなどによるものであります。

非流動負債は1,225百万円（前連結会計年度末比1百万円減）となりました。

この結果、負債合計は59,835百万円（前連結会計年度末比11,273百万円減）となりました。

資本合計は、118,748百万円（前連結会計年度末比4,927百万円減）となりました。主な減少要因は自己株式が9,703百万円増加したことなどによるものであり、主な増加要因は利益剰余金が2,877百万円増加したことなどによるものであります。

流動性に関する指標としては、当第1四半期連結会計期間末において流動比率166.7%、親会社所有者帰属持分比率64.2%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ20,679百万円減少し、46,657百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は869百万円（前年同四半期は5,957百万円の収入）となりました。主な支出要因は法人所得税支払額21,316百万円であり、主な収入要因は税引前四半期利益17,581百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3,736百万円（前年同四半期は3,697百万円の支出）となりました。主な支出要因は無形資産の購入2,932百万円、有価証券及び投資有価証券の取得のための支出500百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は16,287百万円（前年同四半期は1,757百万円の収入）となりました。主な支出要因は自己株式の取得による支出9,859百万円、配当金支払額6,087百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ソーシャルメディア事業では引き続き国内外で「Mobage」のゲーム関連売上収益の拡大を目指してまいります。

国内「Mobage」におきましては、新規の内製・協業タイトルの提供を進めてまいります。従来から利用が活発なユーザ層向けのものから、これまでのラインナップではとらえきれなかったユーザ層向けのライトなものまで幅広いジャンルを対象として、当期中に約60タイトル（7割はアプリ）の新規リリースを予定しております。ブラウザゲーム、アプリゲームの両方で、新規タイトルからヒット作を創出し、モバコイン消費の再拡大とMobageプラットフォーム全体の活性化を目指してまいります。

海外「Mobage」におきましては、主力の欧米向け「Mobage」では当期中に20タイトル以上の新規アプリのリリースを予定しており、より幅広いジャンルで人気タイトルを創出し、ユーザの獲得とモバコイン消費の拡大を図ってまいります。欧米向け「Mobage」では、成長へ向けた投資を継続しつつ第2四半期において四半期ベースでの黒字化を目指してまいります。

EC事業においては「DeNAショッピング」を核に、パートナー企業との連携を最大限に活用しながら、食品・日用品分野での品揃えと価格競争力の強化に取り組み、ユーザの利便性を高め事業基盤の強化を進めてまいります。

平成26年3月期の連結業績見通しにつきましては、当社グループの主力事業であるソーシャルゲーム関連市場は国内外ともにその成長速度を予測することが難しいことや、ユーザの嗜好や人気タイトルの有無等、様々な不確定要素に収益が大きく左右されること等から、信頼性の高い通期及び半期の業績予想数値を算出することが困難なため、四半期ごとの業績発表時に翌四半期の業績見通しを公表させていただきます。

なお、下記の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績見通し」は平成26年3月期第1四半期連結累計期間の実績値に第2四半期連結会計期間の業績見通しを加算したものとなっております。

平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績見通し（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

売上収益	103,100百万円
営業利益	33,700百万円
親会社の所有者に帰属する四半期利益	19,900百万円

平成26年3月期第2四半期連結累計期間におきましては、引き続き、北米を中心とした海外「Mobage」の売上収益が堅調に推移する一方、利益率の高い国内「Mobage」の内製・協業タイトルでの売上収益が伸び悩むと見ており、前年同期比で増収減益となる見込みです。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① 重要な会計方針

以下に記載される場合を除き、当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、平成25年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当第1四半期連結累計期間の表示形式に合わせ、比較情報の要約四半期連結財務諸表を一部組み替えて表示しております。

当社グループが、当第1四半期連結会計期間より適用している主な基準は以下のとおりであります。

IFRS		新設・改訂内容
IAS第1号	財務諸表の表示	その他の包括利益の項目の表示方法を改訂
IFRS第10号	連結財務諸表	支配の定義の明確化及び被支配企業の性質にかかわらず単一の連結の基礎としての支配の使用
IFRS第13号	公正価値測定	他の基準書で公正価値測定が求められる際の指針の設定

それぞれの経過規定に準拠して適用しており、上記の基準書については当第1四半期連結累計期間において重要な影響はありません。

② 見積り及び判断の利用

IFRSに準拠した要約四半期連結財務諸表の作成にあたり、一部の重要な事項について会計上の見積りを行う必要があります。また、当社グループの会計方針を適用する過程において、経営者が自ら判断を行うことが求められております。高度の判断を要する部分及び非常に複雑な部分、並びに仮定や見積りが要約四半期連結財務諸表に重要な影響を与える部分、及び翌連結会計年度において重要な修正をもたらすリスクのある、仮定及び見積りの不確実性に関する情報は、平成25年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	67,337	46,657
売掛金及びその他の短期債権	45,946	44,960
その他の短期金融資産	1,123	1,019
その他の流動資産	4,421	5,039
流動資産合計	118,827	97,674
非流動資産		
有形固定資産	4,135	3,858
のれん	39,437	41,056
無形資産	8,719	10,044
持分法で会計処理している投資	8,044	8,422
その他の長期金融資産	8,702	9,306
繰延税金資産	6,887	8,163
その他の非流動資産	34	59
非流動資産合計	75,957	80,909
資産合計	194,784	178,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	30,034	30,511
未払法人所得税	21,645	8,618
その他の短期金融負債	8,743	8,802
その他の流動負債	9,461	10,678
流動負債合計	69,882	58,610
非流動負債		
非流動の引当金	949	950
その他の長期金融負債	15	11
その他の非流動負債	262	264
非流動負債合計	1,226	1,225
負債合計	71,108	59,835
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	10,361	10,812
利益剰余金	127,927	130,805
自己株式	△34,724	△44,427
その他の資本の構成要素	5,298	7,047
親会社の所有者に帰属する資本合計	119,259	114,633
非支配持分	4,416	4,115
資本合計	123,676	118,748
負債及び資本合計	194,784	178,583

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上収益	47,590	52,158
売上原価	△12,979	△15,859
売上総利益	34,611	36,299
販売費及び一般管理費	△16,277	△19,122
その他の収益	177	132
その他の費用	△119	△318
営業利益	18,392	16,991
金融収益	12	262
金融費用	△338	△9
持分法で会計処理している関連会社の純利益 (純損失)に対する持分	△1	337
税引前四半期利益	18,065	17,581
法人所得税費用	△7,747	△7,699
四半期利益	10,318	9,882

以下に帰属する四半期利益

四半期利益：親会社の所有者に帰属	9,993	9,575
四半期利益：非支配持分に帰属	325	307
合計	10,318	9,882

(単位：円)

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	70.11	72.07
希薄化後1株当たり四半期利益	69.91	71.89

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
四半期利益	10,318	9,882
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失)(税引後)	△29	3
その他	—	△0
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内訳項目(税引後)合計	△29	3
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内訳項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	△1,183	1,694
その他	—	16
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内訳項目(税引後)合計	△1,183	1,710
その他の包括利益(税引後)	△1,212	1,713
四半期包括利益合計	9,106	11,595
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	8,782	11,288
四半期包括利益：非支配持分に帰属	324	307
合計	9,106	11,595

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 資本合計	非支配持分	資本合計
平成24年4月1日現在	10,397	11,189	87,941	△15,626	776	94,677	3,369	98,045
四半期利益	—	—	9,993	—	—	9,993	325	10,318
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,211	△1,211	△0	△1,212
四半期包括利益合計	—	—	9,993	—	△1,211	8,782	324	9,106
所有者への分配として認識した配当	—	—	△5,150	—	—	△5,150	△150	△5,300
自己株式取引による増加(減少)	—	12	—	△3,269	—	△3,257	—	△3,257
株式報酬取引による増加(減少)	—	88	—	—	△32	56	—	56
平成24年6月30日現在	10,397	11,289	92,784	△18,895	△468	95,107	3,543	98,650

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 資本合計	非支配持分	資本合計
平成25年4月1日現在	10,397	10,361	127,927	△34,724	5,298	119,259	4,416	123,676
四半期利益	—	—	9,575	—	—	9,575	307	9,882
その他の包括利益	—	—	—	—	1,713	1,713	1	1,713
四半期包括利益合計	—	—	9,575	—	1,713	11,288	307	11,595
所有者への分配として認識した配当	—	—	△6,698	—	—	△6,698	△150	△6,848
自己株式取引による増加(減少)	—	△104	—	△9,703	△42	△9,850	—	△9,850
株式報酬取引による増加(減少)	—	96	—	—	79	176	—	176
非支配持分の取得及び処分等	—	458	—	—	—	458	△458	—
平成25年6月30日現在	10,397	10,812	130,805	△44,427	7,047	114,633	4,115	118,748

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	18,065	17,581
減価償却費及び償却費	1,239	1,952
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	5	1
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	△655	1,186
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	1,349	△350
その他	1,593	79
小計	21,583	20,436
配当金受取額	11	11
利息支払額	△1	△1
利息受取額	7	2
法人所得税支払額	△15,642	△21,316
営業活動による正味キャッシュ・フロー	5,957	△869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	311	59
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△32	△500
有形固定資産の購入	△2,168	△157
無形資産の購入	△1,617	△2,932
その他	△190	△207
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△3,697	△3,736
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	10,000	—
借入金の返済	—	△200
配当金支払額	△4,763	△6,087
非支配株主への配当金支払額	△150	△150
自己株式の取得による支出	△3,432	△9,859
その他	102	10
財務活動による正味キャッシュ・フロー	1,757	△16,287
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,017	△20,891
現金及び現金同等物の期首残高	54,890	67,337
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△484	211
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,423	46,657

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

1 セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、本社にサービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、事業本部を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「ソーシャルメディア事業」、「EC事業」の2つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

報告セグメント	サービスの種類
ソーシャルメディア事業	ソーシャルメディア関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Mobage」等
EC事業	eコマース関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「DeNAショッピング」、「モバオク」、決済代行サービス等

なお、当社グループは平成25年4月1日より、旅行代理店サービス等の提供に関する経営資源配分及び業績評価の管理区分を変更しております。これに伴い、当第1四半期連結累計期間のセグメント情報より、従来「その他」に含まれていた旅行代理店サービス等の提供を「EC事業」に区分する変更を行っております。また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、組み替えて表示しております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、平成25年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表で記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間

(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位：百万円)

	ソーシャル メディア 事業	EC事業	その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益					
外部顧客からの売上収益	41,234	3,920	2,436	—	47,590
セグメント間の売上収益	47	458	58	△563	—
計	41,281	4,378	2,494	△563	47,590
セグメント利益 (注) 1	18,268	1,147	183	△1,264	18,334
その他の収益・費用 (純額)					58
営業利益					18,392
金融収益・費用 (純額)					△326
持分法で会計処理している関連会社の純利益 (純損失) に対する持分					△1
税引前四半期利益					18,065

(注) 1 セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プロ野球球団の運営等を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間

(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位：百万円)

	ソーシャル メディア 事業	EC事業	その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益					
外部顧客からの売上収益	45,052	4,348	2,757	—	52,158
セグメント間の売上収益	15	569	58	△642	—
計	45,067	4,917	2,816	△642	52,158
セグメント利益 (注) 1	17,868	886	146	△1,723	17,177
その他の収益・費用 (純額)					△186
営業利益					16,991
金融収益・費用 (純額)					253
持分法で会計処理している関 連会社の純利益 (純損失) に 対する持分					337
税引前四半期利益					17,581

- (注) 1 セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
- 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プロ野球球団の運営等を含んでおります。
- 3 セグメント利益の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 金融商品の公正価値

① 公正価値の測定方法

金融資産及び金融負債の公正価値の測定方法は、平成25年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。

② 償却原価で測定する金融商品

償却原価で測定する金融商品の公正価値は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
償却原価で測定する金融資産				
売掛金及びその他の短期債権	45,946	45,946	44,960	44,960
その他の金融資産	6,134	6,134	6,162	6,162
償却原価で測定する金融負債				
買掛金及びその他の短期債務	30,034	30,034	30,511	30,511
その他の金融負債	8,758	8,758	8,813	8,813

③ 公正価値で測定する金融商品

公正価値で測定する金融商品につきましては、平成25年3月31日に終了した連結会計年度より、重要な変動が生じていないため、要約四半期連結財務諸表において要求される公正価値に関する開示の記載を省略しております。

3 資本及びその他の資本項目

当第1四半期連結累計期間において、資本効率の向上と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行とともに、株主還元策として1株当たりの価値向上のため、自己株式を取得しております。平成25年6月30日までに4,505,300株を9,859百万円で取得いたしました。

4 配当金

配当は、期末配当のみ実施しております。期末配当の決定機関は株主総会であります。

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間における配当金支払額は、以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）				
決議日	1株当たり配当額 （円）	配当金の総額 （百万円）	基準日	効力発生日
平成24年6月23日	36	5,150	平成24年3月31日	平成24年6月25日

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）				
決議日	1株当たり配当額 （円）	配当金の総額 （百万円）	基準日	効力発生日
平成25年6月22日	50	6,698	平成25年3月31日	平成25年6月24日

未払配当金は要約四半期連結財政状態計算書上、買掛金及びその他の短期債務に含めて表示しております。

5 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
親会社の所有者に帰属する四半期利益（百万円）	9,993	9,575
基本的期中平均普通株式数（株）	142,536,011	132,861,671
希薄化性潜在的普通株式の影響 ：ストック・オプション等	414,470	327,779
希薄化後の期中平均普通株式数	142,950,481	133,189,450
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益（円）		
基本的1株当たり四半期利益	70.11	72.07
希薄化後1株当たり四半期利益	69.91	71.89

(8) 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。